



～ご活躍されている方々から 創業や今後の夢などを伺いました～

料理界は勿論、起業支援や地域活性化など多方面でご活躍中の料理研究家でシェフの古庄 浩様からメッセージを頂きました。これからも食を通じて色々な分野で貢献されることを期待しております。

Q：今年4月に開店された大阪難波一等地の「日和ホテル・大阪なんば」で総料理長としてご就任されましたが手応えは如何でございますか。

A：今迄に何度もレストランを開業してきましたが開店は容易ではないと言う印象が強いです。飲食店を開業するには、難しい問題が沢山あります。中でも人手不足は、深刻です。年中無休が当たり前の、ホテル内のレストランでは、（従業員が集まらない）事です。働く立地は良いのですが、社員の応募もなく、パートアルバイト等、労働金額も高く、土曜、日曜日、祭日に休みたい等、驚くような働く条件が付いてきます。【人手不足】で容易に軌道に乗せることはできないのが実情です。

Q：今まで料理関係のテレビや地域活性化など多方面でご活躍されていますがその一端をご紹介します。

A：今迄のテレビ出演で、一番印象に残っているのが野村克也監督の推薦で《料理の鉄人》と言う番組で道場六三郎氏に挑戦したことです。もう25年以上前の話になりますが、当時野村氏が監督するヤクルト球団は、4回セリーグ制覇、2回日本一になるなど、常勝軍団でした。監督と池山氏、岡林氏など一軍選手8人の応援で大変盛り上がり、視聴率も最高でした。地域活性化としては、鹿児島県の宇宿に5回ほど地域おこしをお手伝いさせて頂いています。和歌山の加太、岡山の笠岡、山形の鶴岡、酒田、大分の臼杵、など全国でお手伝いをさせて頂いております。

Q：起業の支援もなされますがこれから起業される方へのアドバイスをお願いします。

A：今の時代は、【人手不足】は深刻です。できるかぎり人を使わずに済む事業をお勧めします。特に経験のある厨房内の仕事は、見た目以上に重労働です。材料の買い出しから、料理の仕込み、ソースやスープの仕込みなど多くの時間を費やします。開店時間はもちろん閉店してからの後片付けなどとても長く長い時間拘束されます。容易に軌道に乗せることはできないのが実情です。また長い間飲食業に携わった人であっても、自営するという事は、すべて自分で完結するのだということを肝に据えてかからないといけません。一人で何役もこなして初めて、成り立ちます。今の時代は、複雑で情報が先行しているのが現状です。飲食店の起業は控えた方が良くもありません。

Q：10月に堺筋本町で開店予定のコートヤード・バイ・マリオット大阪本町にも総料理長としてご就任されますが、古庄様の夢などをお教えてください。

A：夢は大阪一過ごしやすいお店を作ることです。今後実施することは沢山ありますが、とても楽しみにしています。人員不足の現状を早めに解決して、夢多きホテルを作りたいと思います。

※ 今後何かのお役に立てば良いと思い、詳しくは紙面の関係で省略しますが、オープンするまでの実践ポイントを記します。参考になれば幸いです。

1. 正社員、アルバイト、パート等のスタッフ、調理スタッフ、接客スタッフのトレーニングと期間の必要性。
2. オープンまでに詰める事は店舗関連、メニューの検討、店名の決定等、マニュアル作成、許可、届け出など多岐に亘ります。

古庄 浩

メールアドレス：furusho@hb.tp1.jp



2018年度LED関西ファイナリストの SAY株式会社代表取締役藤井治子様 からその後のご活躍ぶりを伺いました。治療と同時に予防が必要な時代を迎えさらなるご発展を期待しております。

Q：ファイナリストとなられました以降のご発展内容をお教えてください。

A：LED関西以降で一番大きな出来事は、直営スタジオをオープンできたことです。どんなに早くも2年～3年はかかると思っていたスタジオオープニングが、LED関西を機にどんどん人脈が広がり、信用も獲得できたことにより資金の目途がつかしました。

生徒数は100名だったのが、現在は250名になり、講師も5人が11名になりました。この1年半で事業を倍のサイズにすることができた、そのターニングポイントがLED関西だったと思います。

Q：5月に自社スタジオを淀屋橋にオープンされました。ステップアップの拠点として、状況は如何でしょうか。

A：おかげさまで順調なスタートが切れて、現在淀屋橋スタジオ単独での生徒数は100名を超えました。「中高齢女性専用」の「健康づくりを目的」としたバレエ・スタジオという観点が珍しいということでTV番組に取り上げてもらえたり、健康づくりをコンセプトとする媒体に記事を載せていただけたりもしました。拠点を持つことによる、事業の発信力と信用力の高まりを実感しましたので、これから益々の発展に向けて努力していきたいと思っています。

Q：高齢化社会を迎え、健康寿命の必要性は高まりますがこれからの夢をお聞かせ下さい。

A：10年以内には、事業スタート時からの夢である「中高齢女性の健康づくりにエイジレスバレエ・ストレッチは当たり前」という世の中にしたいと思っています。その次には、性別・年代問わずに、介護リハビリ、医療リハビリ、児童や学生の運動の分野にも活用の幅を広げていきたいと思っています。そして、同時並行で海外へも伝えていきたいです。これらの夢を実現するために、近い将来は東京への事業進出、2025年の万博では世界へエイジレスバレエ・ストレッチを紹介することを成し遂げたいです。

Q：女性や起業に対してのアドバイスをお願い致します。

A：起業の一步を踏み出すまでに必要なことは、「勇気を持ってとにかく一步を踏み出す」ことだと思います。私自身、その経験こそが自信になり次の一步につながる経験をして来ました。

そしてスタートの一步を踏み出してからは、●初心を忘れず謙虚でいること ●言い訳をせずに自分の責任として受け止めること ●諦めないこと ●楽しむこと ●コツコツと積み上げていくこと ●ちゃんと食べて、しっかり寝ること。基本的な事ですが、事業をする上でとても大切な事だと感じています。



(藤井代表と講師陣)

第4回GTE (Global Technology Entrepreneur)

2019・イノベーションチャレンジのビジネスプラン発表会が和歌山市で開催されました!

高校生時代から技術を活かし事業化する楽しさと喜びを知り、世界で通用するベンチャーの教育を実践する目的で(一社)カピオンエデュケーションズ代表理事 曾我弘氏と理事 能登左知氏を中心となり今年も和歌山市のホテルグランピア和歌山で尾花和歌山市長も来賓参加され、満員の会場は熱気溢れる発表会でありました。今回は過去最高の参加があり、9チーム44名による最終日の発表会は8月2日(金)に国内外の高校生が若いエネルギーで熱く、すべて英語でビジネスプランの発表をされました。



(参加の高校生とスタッフ)

初めて会ったメンバーが6日間をかけてチームづくりやビジネスモデルの構築など、シリコンバレーから来日された高校教師で公認会計士のジャストン・グラス先生が中心になってシリコンバレー流を中心に徹底指導されました。VECからも審査委員長として市川理事長、黒田総務企画局長もサポートをさせて頂きました。これを機に未来のビジネスを創造する人材が輩出されることを切に願っております。



(市川理事長から表彰)

記・VEC関西支部 事務局

◆企業目線で考える「心」と「身体」の健康について

平成26年6月に施工された労働安全衛生法の一部を改正する法律により、ストレスチェックと面接指導の実施などを義務づける制度が翌年創設されました。そして労働契約上の安全配慮が法的義務化されることにより精神保健は各企業・事務所にとって新たなリスク要因になりました。正しい制度施行の工程管理の指導及び推進、安全衛生教育、心理専門家によるメンタルヘルスの提供等様々な観点より「外部社員支援プログラム(EAP)」を通じて企業のリスクマネジメントを推進し、社会に貢献することを目的として一般社団法人国際EAP振興協会を設立いたしました。

私はコンピュータ会社の秘書から結婚出産後に美容家の道へと進み、医療や福祉の現場でその知識や技術を提供してきた経験から社会貢献できるセラピストの人材育成を目標に事業に携わり「心」の病と「身体」の病との関連を肌で感じてまいりました。

人間には元来生きていこうとする力が無意識のうちに働いています。暑さや寒さに負けず体温や血圧や心拍数や消化の働きなどもある程度変動なく保たれるように脳が指令を発しているのです。このような身体の恒常性(ホメオスタシス)によって私たちは生きることができます。自律神経は「ホメオスタシス」を維持するための中枢神経なのです。ストレスにより自律神経が乱れば「ホメオスタシス」が正常に作用しません。生命バランスが崩れ、場合によっては体の器官に不調が現れます。

「自律神経」とは皆さんご存知のように、1日のうちで交感神経と副交感神経の2種類のスイッチが切り替わり全身の調整を行います。交感神経は身体の興奮をつかさどり、副交感神経は体をリラックスさせます。これは不随意運動といって、まったく本人の意思に関係なく無意識に切り替わります。体中に存在している白血球ももちろん自律神経の支配を受けています。

癌になりやすい性格でよく言われるのは頑張りすぎる人だと身近な医師からもよく聞きます。まじめで几帳面、責任感が強く一人で抱え込みやすい人はつい交感神経優位になってしまいがちです。限度を超える極端な頑張りには控えられることをお勧めします。

企業内で「心」が不安定な状態になり「身体」に不調をきたすと集中力が欠け、うっかりミスが原因のトラブルや事故を誘発しやすくなります。一般的に事後処理にかかる費用は前向きな費用に比べ約4倍、クレーム対応に費やす費用は同様に1.2倍といわれ、損害賠償となると計り知れないダメージも考えられます。企業としてのリスクを回避し生産性を維持する意味でも個人の「心と身体の健康」はとても重要なキーワードです。

様々な労働問題の答えは決して一つではなく人の数だけ職場の数だけより良い解決法があるはずですが、個人に起こり得る家庭・社会・職場でのストレスにおける疾病やトラブルを発生しない様にするにはどうすればよいのか。円滑な人間関係をもつ職場づくり・環境づくりに必要不可欠な自分と他人へのコーピング法=ストレス解消法を今後もお伝えしていきたいと思っております。

<※企業カウンセラー養成講座>

企業カウンセラーだけでなく、人事管理職の方にも活用していただけるメンタルヘルスケアの基礎コースです。特に五感の刺激を通して心身の状況に気づくワークは当協会オリジナルの体験型学習として様々な世代・立場・業種の方にご活用いただけます。

ご興味ある方はF a xにて(06)6940-7712 一般社団法人国際EAP振興協会事務局までお問い合わせください。

一般社団法人国際EAP振興協会 理事長 坂本真由美

※女性起業家応援プロジェクト「LED関西」ビジネスプラン発表会は2020年1月24日(金)の予定です。
応募、参加など、ご関心のある方はinfo@ledkansai.jpでご確認願います。

~VEC関西より~

・一口でベンチャーと言っても本当に起業をするのは大変なようです。難波の一等地のホテルでも調理人を集めるのが大変との事。まして料理のメニューの作成や材料仕入れのネットワークづくり、客層の選択、店の内装や家賃のこと、我々素人が考えてもご苦労が偲ばれます。ご成功を祈ります。(本田)

・近所の仲良しグループの一人が引越したので少し寂しいです。おかずを持って行ったり貰ったり、ちょっと立ち話など・・・近所に居るからこそ出来る付き合い、大事ですね!とは言え引越した先は車で5分位の所なんです!映画(レイトショー)とか飲み会はまだまだ続きます♪(藤本)

・毎年8月の初旬に町内で恒例の盆踊り大会が開催されます。帰り道すがら聞こえてくる盆踊りの音頭、連れ添って行く子供達の浴衣姿など毎年遠目で見えていたのですが、今年は会場近くまでいく用事も何年かぶりに覗いてみました。大勢の人、人で老若男女がやぐらを中心に円陣をつくり踊っている姿

に自分の小さかった時代と照らし合わせ懐かしかったです。なんと初日は3,000人参加で根強い人気だなと感じました。今年の暑かった夏も盆踊りという行事でピークを迎えます。来年こそ久しぶりに気持ちいい汗をかいてみようかな・・・(濱本)

・VECは10月で創立44年となり、人生で言いますと真に働き盛りでありまして、10月号は現在華々しくご活躍中の皆様からご寄稿を頂きました。来年はオリンピック、パラリンピックの開催があり、すべてにおいて笑いが一杯の年となりますよう期待しています。(澤村)

<交流会の予定>

2019年11月18日(月) ・大阪ガス株式会社 イノベーション推進部
室長 樋口 裕思 様
・一財)VEC 理事長 市川 隆治

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293